

第18回 日本シーティング・シンポジウム プログラム

第1日目 : 11月18日(土)

●10:20~11:10 講堂(1階)

大会長基調講演

「根拠に基づいた車椅子シーティングを目指す評価指標の開発」

講師：亀ヶ谷忠彦(群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 教授)

座長：

●11:20~12:10 講堂(1階)

社会局セッション：「シーティング・スタートアップ！」

講師：阿部高家(リハビリテーション天草病院)

●11:20~12:10 611教室(6階)

セッション1：口述発表(4演題)

座長：

- 1 演者：白銀 暁(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
「重度肢体不自由者の褥瘡発生リスクの低減を目的とした自動シーティングを実現するための技術開発」
- 2 演者：高野 学(株式会社モルテン)
「ダイナミック型座クッションが姿勢崩れに及ぼす影響」
- 3 演者：我澤賢之(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
「DEAによる座位保持装置製作事業の採算性分析」
- 4 演者：谷村亮介(千里中央病院)
「脳卒中患者の不良姿勢に対するシーティング —身体機能、車椅子の問題点に焦点をあてた介入—」

●12:10~13:20 講堂(1階)

企業プレゼンテーション

●13:30~15:00 講堂(1階)

特別講演：「わが国の車椅子の技術的發展過程を振り返る – 車椅子から車椅子シーティングへ・未来へ」

講師：田中 理(クオルトン研究所)

座長：亀ヶ谷忠彦(群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 教授)

●15:10~16:10 講堂(1階)

教育講演1：「こどもの“動く”を支える」

講師：辻 清張(福井県総合福祉相談所障がい者支援課)

座長：

●15:10~16:10 611教室(6階)

シーティングコンサルタント取得 Fコース(事例検討会) (2名)

(自由に見学できます)

●16:20~16:50 講堂(1階)

学術局セッション：「学術局の活動紹介」

講師：宮寺亮輔(東京都立大学)

第2日目 : 11月19日(日)

●9:10~10:40 講堂(1階)

パネルディスカッション:「目的別車椅子シーティングを実践するためのエビデンス活用法」

座長:小原謙一(川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 教授)

パネリスト:廣島拓也(花はたリハビリテーション病院)

宮寺亮輔(群馬医療福祉大学)

谷村亮介(千里中央病院)

●9:10~10:20 611教室(6階)

セッション2:口述発表(4演題)

座長:

1 演者:白方一範(松山リハビリテーション病院)

「食事動作の自立に向けたシーティングの介入」

2 演者:石田茂靖(森山脳神経センター病院)

「Lateropulsion様の姿勢障害を呈した小脳出血患者へのシーティングによる食事動作の効率化」

3 演者:長井翔太(医療法人尚仁会真栄病院)

「Pusher現象を呈した症例に対して食事自力摂取を目標に車椅子シーティングを行った一症例」

4 演者:東 駿佑(苑田会 花はたリハビリテーション病院)

「上肢機能改善を目的としてWS-AFIを使用し、座背共に着目したシーティング介入により、机上での上肢操作と両手駆動の机上に繋がった症例」

●10:50~11:50 講堂(1階)

ミニシンポジウム:「AIとシーティング:未来への可能性を考えるミニシンポジウム」

司会:白銀暁(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

シンポジスト:高嶋淳(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)(予定)

岩谷清一(TOWN訪問診療所)

篠原真咲(三重県立看護大学)

●10:50~11:50 611教室(6階)

企業セミナー1:「一部:院内から在宅に向けた取り組みについて、二部:車いすの背張り調整のポイ

講師:(株式会社フロンティア)

●12:50~13:50 講堂(1階)

教育講演2:「日本中にシーティングを広めるために必要な、新しい視点車椅子

再発見プロジェクトが実践する、医療専門職に求められるプレゼン思考」

講師:宇佐見将太(車椅子再発見プロジェクト/車椅子エバンジェリスト)

座長:古田大樹(豊殿診療所)

●12:50~13:50 611教室(6階)

教育局セッション:「脊柱の安定をつくる背張り調整」

担当:前田 哲(甲州リハビリテーション病院)

●14:00～14:40

コーヒーブレイク

●14:00～14:40 講堂協運動室（1階）

ポスター発表（8演題）

- 1 演者：亀ヶ谷忠彦（群馬医療福祉大学）
「車椅子シーティングの実施設における評価の実施状況の調査」
- 2 演者：板垣康司（社会医療法人同愛会博愛病院リハビリテーション部）
「意思疎通方法を統一し短期間で離床・摂食嚥下状況が改善した失語症の一症例」
- 3 演者：吉川亮太（真栄病院 リハビリテーション部）
「脳梗塞後遺症を呈した患者様の食事姿勢に着目した一症例」
- 4 演者：関口裕巳（森山脳神経センター病院）
「一般病棟でのシーティングラウンドによる実務軽減」
- 5 演者：新垣貴大（リハビリテーション天草病院 リハビリテーション部）
「標準型車椅子（アームサポート固定式）への座位側方移乗を獲得する為の介入」
- 6 演者：小松央弥（横浜新都市脳神経外科病院リハビリテーション科）
「当院におけるシーティングチームの取り組み」
- 7 演者：永田香鈴（横浜旭中央総合病院）
「目的に応じた再評価の必要性」
- 8 演者：横山悦子（順天堂大学保健看護学部）
「高齢者の脊柱後彎度、頭頸部角度と嚥下機能との関連」

●14:50～15:50 講堂(1階)

セッション3：困難事例

座長：

- 1 演者：平松優香（神奈川県総合リハビリテーションセンター 理学療法科）
「脳外傷後遺症の既往と脊柱屈曲可動域制限を伴った脊髄損傷者の車椅子駆動に対する介入」
- 2 演者：野田笑美（花はたりリハビリテーション病院）
「頸髄損傷による下肢痙縮が著明で下方リーチ時に転落リスクがあった一例」

●14:50～15:50 611教室(6階)

企業セミナー2：「座面の角度から座位姿勢を考える～グレイスコアシリーズ」

講師：（株式会社松永製作所）